

価値観測定尺度の構成*

—中国と日本の大学生との比較において—

鄭 暁 齊¹⁾

問題と目的

“古くて新しい問題”である価値観は、長い歴史を持つ心理学の研究分野の1つである。特に、1950年代から、Allport, Morrisらの代表的な研究をはじめ、価値観に関する比較文化的研究は数多くみられる。一方、こうした研究の流れに対する批判もみられる。異なる文化、社会的背景にある習慣、社会制度 (institution, 例えば、結婚制度) はその文化独自の意味をもつので、共通の構成概念によって行われる比較文化的研究には比べられないものを比べようとする Malinowski ジレンマがあると指摘されている (Goldschmidt, 1966 : Berry, 1980)。

この問題は、いわゆる比較文化的対応性の問題であるが、そのためには同一の基準、次元で比較文化的研究が行われる必要があると考えられる。特に文化人類学などのように、その文化から一種の行動、儀式、特性 (trait) を取り出して比較が行われる場合に問題がある。例えば、文化的背景の違いを無視して日本の“心中”と他の国での自殺を比較して解釈するには問題がある。しかし、現代の心理学においては、異なる文化での多様な基礎データに基づき、それらの文化価値のいろいろな要素間の関係を十分吟味した上で、信頼性、妥当性がある測定尺度を作成することが求められている。このように作成された測定尺度を用いることによって、同一名称の構成概念を異なる文化間で比較することができる。すなわち、それらの構成概念と他の構成概念との関連をそれぞれの文化内でみ、それらの構成概念間の関連の仕方によって文化間の異同を明らかにできる。こういった方法が、比較

文化的研究に新しい見地をもたらすものと考えられる。

また、今までの価値観に関する比較文化的研究をレビューしたところ、異なる文化圏間の比較的研究が多いという特徴がみられる。例えば、極端な場合として、東洋文化と西洋文化の国々の間で、違いの見出されやすい生活様式、行動パターンに注目する研究が多く見られる。もはや現代の比較文化的研究は、他の1つの呼び方である異文化研究という名のとおり、集団、あるいは個人の心理的違いを見出すことを目的とする分野となりつつあると言っても言い過ぎではないだろう。しかも、共通する文化圏内の国、地域間の比較もこの分野の重要な部分を占めるべきである。そして、この部分は比較文化的対応性が得られやすく、Malinowski ジレンマから脱出する適切なアプローチの1つであると考えられる。

中国と日本は、同じ東洋文化圏内の国々で、古い交流の歴史をもち、文化、生活習慣、言語などの面について多くの共通点がある。しかし、現在では、社会体制、政治、経済発展の程度などが異なっており、両国はそれぞれ、異なる社会的状況、社会事情にある。このような特徴をもつ環境にある両国の青年の価値観の異同については興味深い問題であろう。

しかし、前に述べたように、同じ文化背景をもつ集団間の比較文化的研究が少ないという現状の中、1950年代以後、中国と日本の比較を中心とした価値観についての心理学的研究はまったくみられない。そのために、現代の両国の青年の価値観がどの点で異なり、またどの点で類似しているかが明らかではない。こうした現状を考えて、心理学的観点から日本と中国の青年の価値観を調べるために、比較可能な価値観の測定尺度を作成する必要があると思われる。

研究を進めるに際して、日・中両国の比較研究に必要な基礎的資料やデータが得られていない。そこで、中国と日本の青年の価値観を比較するには、まずもっとも基本的であり、重要と思われる価値観の諸側面に注目することが現状において必要であろう。

さらに、従来の価値観に関する心理学的研究にみられ

* 本研究を進めるにあたり御指導いただきました久世敏雄教授・村上 隆助教授に、深く感謝致します。

本研究のデータ処理は名古屋大学大型計算機センター F A C O M M - 382により行われた。

1) 名古屋大学大学院教育学研究科博士過程 (後期)

(指導教官: 久世敏雄教授 村上 隆助教授)

る測定方法などの問題点を考慮し、より広範囲にわたって、価値観の諸側面を調べる必要がある。しかし、価値観が、構成概念であるため、直接的に測定ができるものではない。したがって、尺度構成における妥当性の検証の方法として、尺度の構成概念妥当性を調べることは多くの研究にみられる。そこで、今回の研究において、中国と日本の大学生を対象とし、信頼性、妥当性をもち、価値観の多面的な特徴を次元化して記述できる価値観の測定尺度を作成することを主な目的とする。

予備調査

目的

日本と中国に焦点を当てた価値観に関する比較尺度を作成するにあたって、先行研究がないため、まずより広い観点から、探索的にアプローチすることは適切と思われる。そこで、まず、ゴードン・菊池(1975)によって作成された個人的価値観調査用紙(Survey of Personal Value, 以下SPVと略記)と対人的価値観調査用紙(Survey of Interpersonal Value, 以下SIVと略記)などの測定尺度に基づき、東洋文化の特徴をより適切に表し、日常生活の諸側面と深く関連のある質問項目を選択することを中心とした予備調査を行なう。

I 日本の場合

方法

質問項目の収集、作成：従来の理論的研究、測定尺度にみられる価値観に関するカテゴリー、質問項目などを参考にして、適切と思われる価値観を表す文章、項目を集め、それらのことばや表現について修正し、カテゴリー

化した。選ばれた質問項目の内容や表現について心理学専攻の大学院生によって、訂正、チェックが行われた。それらの回答に対して、さらに修正、検討をし、日常生活において重要である、あるいはありうと思われる17個の価値観のカテゴリーを設定し、141質問項目を選択した(付録を参照されたい)。回答形式は、“きわめて重要である”から、“まったく重要でない”までの7段階評定である。

調査の実施：1985年6月に、名古屋大学、愛知教育大学、名古屋工業大学の大学生367名(男性156名、女性211名)に対して、141項目からなる価値観調査を実施した。

結果

理論的、経験的な観点から設定された価値観のカテゴリーとそれらに対応する項目との関係を調べるために、まず、141項目間の相関係数を算出し、検討を行った。その結果、全般的には、予想されたカテゴリー内の項目間の対応関係がみられた。しかし、何ら対応関係がない項目も数多くあり、解釈が困難であった。そこで、さらに、141項目のデータについて主因子法による因子分析を行い、バリマックス法で回転をした。因子数の指定、項目の分類などについて、さまざまな操作をくり返ししながら、構成尺度の内的整合性を検討した。

以上のように、いろいろな角度から分析された結果、少数の項目に表現、内容などに起因すると思われる問題が見出された。そこで、問題のある20個の項目を排除し、残りの121項目に基づいて項目間関係、因子分析、下位尺度の信頼性のチェックを行った。

Table 1 日本における個人的価値観の因子分析結果 (ROTATED)

| | F 1 | F 2 | F 3 | F 4 | F 5 | F 6 | h^2 |
|------------------|-----|------|------|-----|------|------|-------|
| 規則正しい人間である | .71 | .16 | -.01 | .19 | .10 | .06 | .57 |
| 規則正しい生活をする | .70 | .28 | -.16 | .08 | -.11 | .08 | .63 |
| 規則的に仕事をする | .69 | .05 | .12 | .14 | .10 | .01 | .53 |
| 仕事を計画的にすすめる習慣をもつ | .68 | .20 | .13 | .22 | .13 | -.07 | .59 |
| 予定表を作り、その通りに勉強する | .64 | .09 | .15 | .08 | .13 | -.10 | .53 |
| 計画どおりに実行する | .64 | .05 | .24 | .08 | .21 | -.09 | .42 |
| 細部にわたりきちんと計画を立てる | .60 | -.01 | .16 | .05 | .27 | -.04 | .47 |
| 食事は規則正しくする | .57 | .28 | -.23 | .03 | -.10 | .19 | .54 |
| 決められた規則は守る | .57 | .26 | -.01 | .23 | .01 | .03 | .47 |
| どんなものでも決まった場所におく | .55 | -.08 | .14 | .11 | .14 | -.02 | .36 |
| いつもていねいな言葉を使う | .55 | .08 | .05 | .11 | .03 | .01 | .32 |
| 一つの仕事を終え、他の仕事に移る | .46 | .27 | -.01 | .02 | .23 | .09 | .34 |
| はめをはずさない | .43 | -.01 | .01 | .20 | .20 | -.17 | .30 |

原 著

| | | | | | | | |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|-----|
| その場の勢いで行動しない | .42 | .08 | -.02 | .37 | .15 | -.09 | .35 |
| 自分のものを大切にす | .41 | .25 | -.04 | .40 | -.16 | .13 | .43 |
| 自分の考えをすぐにまとめる | .36 | .16 | .26 | .21 | .31 | .05 | .37 |
| 自分の能力にあった仕事をえらぶ | .34 | .24 | .12 | .33 | -.10 | .02 | .30 |
| 始めたことは、最後まで頑張る | .10 | .68 | .02 | -.12 | .16 | .06 | .52 |
| やりかけたことは途中でやめない | .24 | .67 | .09 | .03 | .26 | .02 | .58 |
| すべき仕事は最後までやり通す | .07 | .66 | .01 | .19 | .08 | .13 | .48 |
| 引き受けた仕事は最後までやる | .11 | .63 | -.01 | .14 | .11 | .04 | .44 |
| 問題を解くとき、最後まで頑張る | .15 | .59 | .12 | -.09 | .27 | -.04 | .47 |
| 途中邪魔されても仕事をつづける | .08 | .58 | .25 | .09 | .19 | .07 | .45 |
| 努力が必要な仕事を成し遂げる | .19 | .55 | .30 | .03 | -.02 | -.04 | .42 |
| ものごとを真剣に考える | .12 | .51 | .14 | .13 | .08 | -.04 | .32 |
| 問題の解決に直接取り組む | .08 | .44 | .19 | -.05 | .10 | -.08 | .25 |
| 他人にとって難しい問題を解決する | .01 | .18 | .70 | .04 | .16 | .13 | .56 |
| ある分野で第一人者になる | -.02 | .06 | .60 | .16 | -.06 | .24 | .45 |
| 重要な仕事に取り組む | .21 | .31 | .58 | -.01 | -.04 | .14 | .49 |
| 人のしていない新しい仕事をする | -.11 | .27 | .58 | -.01 | -.04 | .23 | .47 |
| 物事を他人よりじょうずにする | .03 | .03 | .53 | .27 | .04 | .10 | .37 |
| 独力で最高水準の業績をあげる | .05 | .14 | .47 | .15 | -.19 | -.04 | .30 |
| 社会で成功する | .31 | -.02 | .44 | .08 | -.13 | .15 | .33 |
| 問題をすぐに処理する | .22 | -.06 | .44 | .21 | .33 | -.04 | .40 |
| 困難な仕事に従事する | .07 | .34 | .40 | -.15 | .25 | .11 | .38 |
| 実際の・能率的に物事を処理する | .22 | .07 | .38 | .33 | .26 | .03 | .37 |
| 先の見通しをつけ、選択をする | .25 | .05 | .21 | .61 | .18 | -.03 | .51 |
| どんな場合でも、落ち着いている | .18 | .01 | .12 | .57 | .17 | .03 | .39 |
| 自分自身を十分統制できる | .12 | .26 | .12 | .53 | .20 | .01 | .42 |
| 感情に左右されずに行動する | .28 | .10 | .09 | .47 | .32 | -.03 | .42 |
| 努力に見合う報酬を得る | .10 | -.13 | .36 | .42 | -.08 | .10 | .35 |
| 自分の物をよい状態に保っておく | .31 | .11 | .08 | .42 | -.24 | .13 | .36 |
| 報酬に応じた努力をする | .16 | -.09 | .08 | .36 | .02 | .08 | .17 |
| 何事にも率直である | .15 | .25 | -.06 | .01 | .62 | .01 | .48 |
| 物事の筋を通す | .10 | .21 | .01 | .16 | .51 | .05 | .34 |
| あいまいな態度を取らない | .10 | .29 | -.11 | .06 | .44 | .09 | .31 |
| 即座に決定をくださ | .14 | .02 | .36 | -.12 | .43 | -.16 | .37 |
| 物事の善悪をはっきりさせる | .25 | .28 | -.09 | .08 | .40 | -.01 | .32 |
| 自分の意見、信念に忠実である | .17 | .21 | -.05 | .26 | .38 | .12 | .30 |
| 仕事を仕上げるため夜遅く迄頑張る | -.02 | .21 | .29 | .07 | .34 | .02 | .25 |
| 真実を追求する | .14 | .21 | -.02 | .15 | .30 | .16 | .20 |
| 新しいことや変わったことを経験する | -.14 | .15 | .19 | .04 | .02 | .68 | .54 |
| 見知らぬめずらしい場所に行く | -.03 | -.01 | .06 | .10 | .02 | .61 | .38 |
| 危険でスリルのあることをする | -.19 | -.14 | .25 | -.25 | .18 | .60 | .57 |
| いろいろな楽しみや娯楽を求める | .13 | .05 | .05 | .19 | -.02 | .59 | .41 |
| いろいろなことに好奇心をもつ | -.16 | .27 | .03 | .21 | .18 | .55 | .47 |
| 風変わりな表現や言葉を使う | .15 | -.32 | .32 | -.19 | .04 | .50 | .51 |
| 新しい流行を取り入れる | .23 | -.25 | .20 | -.12 | -.11 | .49 | .42 |
| 寄与率 (%) | 9.81 | 7.76 | 6.52 | 4.85 | 4.40 | 4.31 | |

価値観測定尺度の構成

Table 2 日本における対人的価値観の因子分析結果 (ROTATED)

| | F 1 | F 2 | F 3 | F 4 | F 5 | F 6 | F 7 | h^2 |
|------------------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 重要な人物として認められる | .73 | .08 | .21 | .06 | .02 | .06 | .10 | .60 |
| グループの中で、注目の的になる | .71 | .02 | .03 | -.05 | -.10 | .17 | -.03 | .62 |
| 自分の集団のリーダー格になる | .70 | .03 | .19 | .09 | .09 | -.10 | .07 | .56 |
| 自分のしたことが注目される | .69 | -.01 | .16 | -.04 | .02 | .24 | -.11 | .57 |
| リーダーとして尊敬される | .67 | .17 | .07 | .20 | .13 | -.15 | .24 | .62 |
| 広い範囲の人々に名前を知られる | .66 | .07 | -.04 | .14 | -.09 | .17 | .17 | .53 |
| 自分の成し遂げたことが評判になる | .64 | .04 | .24 | -.14 | .06 | .37 | -.07 | .64 |
| 他人に大きな影響力をもつ | .64 | -.01 | .04 | .09 | .16 | -.03 | -.16 | .47 |
| 思うことを他人にやらせる | .60 | .01 | .20 | -.09 | .16 | .08 | .06 | .44 |
| 他人の役割をきめる | .56 | .04 | .32 | .12 | .04 | -.09 | .02 | .45 |
| 多くの人々の前で発言する | .53 | .13 | .03 | .14 | -.04 | .03 | -.10 | .33 |
| 自分の考えで人の行動を左右する | .52 | .21 | .04 | .02 | .10 | .14 | -.08 | .36 |
| 他人から頼りにされる人になる | .50 | .33 | .12 | .33 | .06 | .01 | -.03 | .49 |
| 決定する場合、重要な役割をとる | .49 | .15 | .21 | .40 | .08 | -.23 | .07 | .51 |
| 他人の知らない面白い話をする | .49 | .09 | .13 | .07 | -.09 | .34 | -.37 | .53 |
| 自分が経験した冒険などを人に話す | .37 | .17 | .21 | .13 | .01 | .23 | -.34 | .40 |
| 悩みを打ち明けられる人がいる | .01 | .81 | .11 | .11 | -.02 | -.01 | -.04 | .68 |
| 失敗の時、励ましてくれる人がいる | .14 | .78 | .15 | .08 | .17 | .14 | .02 | .71 |
| 理解のある友人をもつ | .05 | .76 | .07 | .09 | .01 | .02 | .04 | .60 |
| 親友と呼べる友達がいる | .02 | .76 | -.04 | .22 | -.01 | -.02 | -.02 | .63 |
| 私を元気づけてくれる友達がいる | -.02 | .75 | -.03 | .09 | .01 | .14 | .06 | .59 |
| 友達と親密になる | .17 | .61 | .10 | .21 | .01 | .02 | .05 | .46 |
| 友達と協力する | .09 | .60 | .05 | .46 | -.02 | .03 | .08 | .58 |
| 味方になってくれる人がいる | .24 | .56 | .23 | -.08 | .09 | .17 | .12 | .48 |
| 病気の時友達が気をつかってくれる | .14 | .51 | .13 | .17 | .07 | .30 | -.11 | .43 |
| できるだけ多くの友人をつくる | .27 | .46 | -.13 | .37 | -.07 | .04 | .24 | .50 |
| 困っている時、友達に助けをもらう | -.13 | .44 | .43 | -.02 | -.11 | .16 | -.13 | .46 |
| 自分のことを打ち明ける | .19 | .43 | .26 | .25 | -.17 | .15 | -.28 | .48 |
| 尊敬する人に意見を求める | .14 | .04 | .73 | .12 | -.02 | .07 | -.08 | .57 |
| 自分が尊敬する人の指図に従う | .25 | .07 | .66 | .01 | .03 | .01 | -.09 | .51 |
| 立派な意見をもつ人の指示を受ける | .23 | .02 | .61 | .23 | .05 | -.02 | .03 | .49 |
| 自分の上に立つ人を賞賛する | .22 | -.01 | .59 | .23 | -.01 | .01 | .03 | .48 |
| 集団活動でリーダーの指示に従う | .04 | .07 | .59 | .24 | .08 | -.04 | .14 | .44 |
| 目上の人から期待されることをする | .41 | .06 | .54 | .24 | .08 | .14 | .17 | .52 |
| まわりの人々に合わせて行動する | .10 | .03 | .50 | .09 | -.18 | .32 | .18 | .43 |
| ものを決めるとき、他人に相談する | .01 | .24 | .49 | .17 | -.09 | .17 | .01 | .37 |
| 尊敬する人に認められるように行動 | .38 | .08 | .48 | -.06 | .05 | .19 | .13 | .44 |
| 常に穏当なことをする | .11 | .03 | .44 | .12 | .04 | .43 | .28 | .49 |
| 権威者の意見を知る | .15 | .05 | .43 | -.12 | .17 | .06 | .04 | .25 |
| 不幸な人に親切にしてあげる | .13 | .23 | .09 | .68 | .01 | -.03 | -.03 | .54 |
| 他人のためになることをする | .08 | .20 | .05 | .67 | .07 | .04 | .16 | .53 |
| 他人のために時間をつかう | .09 | .12 | .07 | .64 | .04 | .01 | -.09 | .45 |
| 弱いものの味方になる | .01 | .16 | .18 | .63 | .09 | .09 | .07 | .47 |
| 友達が困っている時、助けてあげる | .07 | .51 | .06 | .56 | .03 | .17 | -.12 | .63 |
| だれにでも寛大である | .06 | .02 | .12 | .54 | .11 | .41 | -.05 | .49 |
| 言い争いの時、仲裁役につく | .16 | .17 | .19 | .43 | .03 | .35 | .04 | .40 |

| | 原 | | 著 | | | | | |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 他人の言うことにまどわされない | -.01 | .06 | .06 | .03 | .77 | -.02 | .03 | .60 |
| 他人の意見にまどわされずに決定する | .09 | .03 | -.03 | .02 | .75 | .12 | .01 | .59 |
| 他人から言われても気が変わらない | .04 | .05 | .08 | -.01 | .66 | -.11 | -.10 | .47 |
| 自分のことはすべて自分で決定する | .10 | -.09 | -.17 | -.01 | .62 | .05 | .20 | .47 |
| 他人に依存しないで、仕事をする | -.03 | -.14 | .09 | .26 | .48 | -.04 | .09 | .33 |
| 型にはまらず自分の考えで行動する | .09 | .11 | -.20 | .07 | .46 | -.03 | .41 | .45 |
| 命令されずに仕事をする | .18 | .13 | .22 | .15 | .42 | -.09 | -.11 | .32 |
| 自分がやりたいと思うことをする | .05 | .12 | .04 | .02 | .32 | .06 | -.47 | .35 |
| 反対されても自分の立場を弁解する | .21 | .03 | .38 | -.03 | .31 | .03 | -.14 | .38 |
| いつも仲間といっしょにいる | .12 | .21 | .39 | .05 | -.14 | .51 | .06 | .49 |
| 人にどんな印象を与えるかを知る | .20 | .23 | .07 | .06 | -.04 | .50 | -.06 | .35 |
| 何かをする前他人の気持ちを考える | -.07 | .29 | -.03 | .40 | .01 | .42 | -.03 | .43 |
| どんな人とでも仲良くする | .14 | .13 | .08 | .36 | .06 | .39 | .24 | .39 |
| 正しいと思われる生き方をする | .11 | .11 | .40 | -.04 | .03 | .18 | .55 | .52 |
| 常に道徳的に正しいことをする | -.09 | .17 | .26 | .23 | .25 | .05 | .53 | .50 |
| 皆に受け入れられるように行動する | .24 | .21 | .22 | .18 | .03 | .43 | .44 | .56 |
| 社会的に正しいことをする | .08 | .25 | .37 | .33 | .12 | .07 | .43 | .52 |
| 寄与率 (%) | 9.79 | 9.24 | 7.54 | 5.57 | 5.24 | 3.62 | 3.13 | |

因子分析：想定していた価値観の次元、カテゴリーや質問項目間相関から、121項目を大きく個人的価値観と対人的価値観という2つのカテゴリーに分類した。こうした分類に基づいて、それぞれの項目群について主因子法による因子分析を施し、バリマックス法で回転を行った。

個人的価値観に属すると思われる58項目のデータから、固有値の衰減状況をもとに、独立した6因子が抽出された。因子分析による回転後の因子負荷行列がTable 1に示されている。

第I因子に属する項目は、“秩序・計画性”と“自己統制”といったカテゴリーと関連するものがほとんどである。

第II因子の項目群に関しては、“持久・責任感”といったような内容のものが集まっている。この因子は、今後の研究において東洋的文化独自の因子として抽出されることが予想される。

第III因子に含まれる項目は、成功を得るための“努力・達成”の傾向であるように思われる。

第IV因子には、“实际的・合理的”に物事をやることを中心とする項目が集まっている。

第V因子についてはあまり明確な解釈ができないが、“決定”と“真实性”に関連する項目が含まれており、今後さらに、検討していく必要がある。

第VI因子では、第IV因子とは対照的に、“合理性”よりも物事の“新奇性・変化”を求める傾向が明らかにみ

られた。

次に、対人的価値観に属すると思われる63項目から、7因子が独立した次元として抽出された。回転後の因子負荷行列はTable 2に示されている。

第I因子は、“指導”と“承認”が合わさって、同じカテゴリーのものとして見出された。

第II因子の中には、“親和欲求”と関連するものが多くみられた。

第III因子は、“同調・服従”と関連する項目が集中している。

第IV因子の項目は、“利他行動・博愛”を表すものがほとんどである。

第V因子の中に含まれる項目は、“自己決定・独立性”を強調していると思われる。

第VI因子については、あまり明白な解釈ができないが、“博愛・親和”と関連しているように思われる。

第VII因子については、世間一般の考え方、行動様式に合わせるような集団志向の傾向が強く見られた。

以上のように、因子分析により、項目間の関係についての検討を行った。あまり明白な解釈のできないものもみられるものの、全体としては、ゴードン・菊池(1975)などの価値観測定尺度にみられたようなカテゴリーとさらに東洋独自と思われるカテゴリーが見出された。

各下位尺度内の信頼性：因子分析の結果にみられる項目間関係から、個人的価値観と対人的価値観について、今後の研究において構成されると予想される各下位尺度

価値観測定尺度の構成

Table 3 日本における個人的価値観, 対人的価値観下位尺度の α 係数 (N = 367)

| | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|------|-----|--|
| 個人的価値観 | | | | | | |
| 秩序 | 達成 | 持久 | 多様 | 自己決定 | 実際 | |
| .87 | .65 | .63 | .51 | .48 | .53 | |
| 対人的価値観 | | | | | | |
| 指導 | 支持 | 独立 | 親和 | 同調 | 博愛 | |
| .78 | .66 | .55 | .48 | .56 | .61 | |

の内的整合性を調べるため、それぞれの α 係数が算出され、Table 3 に示されている。

各下位尺度の α 係数は、全体的に高い値を示しており、それぞれの項目群の内部に一貫した関係がある。しかし、尺度内の項目の数が多いにもかかわらず、いくつかの下位尺度において α の値がその他の尺度より低く、問題があるように思われる。また、因子分析の結果と照合すると、予想された価値観の次元とそれらの項目との間に対応した関係の傾向がみられたが、それぞれの下位尺度が独立した因子として抽出されなかったため、尺度構成においてさらに厳密に質問項目の選択を行う必要があると思われる。

II 中国の場合

方法

質問項目：Iにより選択された121項目が back-translation 法で中国語に翻訳された。回答形式、手続きなどはI日本の場合と同様である。

調査実施：1985年9月に、中国の杭州大学の大学生398名（男性243名、女性155名）に対して調査を実施した。

結果

今回の調査データについて、I日本の場合の結果と照

らし合わせるという前提において、さまざまな分析をしながら、質問項目の選択を行った。まず、項目間相関を算出し、経験的、理論的な観点から、質問項目の内容の関連性を吟味した。その結果、日本の場合と同様に項目を個人的価値観と対人的価値観という2つに分類した。

因子分析：個人的価値観と対人的価値観それぞれで、主因子法による因子分析を行い、バリマックス法で回転した。

(1) 個人的価値観に属すると思われる53項目について、因子分析から6因子が抽出された。回転後の因子負荷行列は Table 4 に示されている。

第I因子には、“秩序・計画性”と関連する項目がほとんどである。

第II因子に含まれる項目は、“持久・責任感”を表すものが多いが、“決定”と関連するものもある。

第III因子に物事の“新奇性・多様性”を求める項目が集まっている。

第IV因子に、“達成・努力”に関する項目が多くみられている。

第V因子は、自分のものを大切にする、損になることをしないとった“合理性・实际的”傾向を示している。

第VI因子は、主に“自己統制”と関連する項目を含んでいる。

Table 4 中国における個人的価値観の因子分析結果 (ROTATED)

| | F 1 | F 2 | F 3 | F 4 | F 5 | F 6 | h^2 |
|------------------|-----|------|------|------|------|------|-------|
| 規則正しい人間である | .83 | .04 | .02 | .10 | .02 | .05 | .71 |
| 規則正しい生活をする | .80 | -.03 | -.06 | .08 | .04 | -.06 | .66 |
| 仕事を計画的にすすめる習慣をもつ | .74 | .22 | .03 | .08 | -.03 | .05 | .61 |
| 食事は規則正しくする | .72 | -.01 | -.11 | .17 | .00 | -.03 | .56 |
| 予定表を作り、その通りに勉強する | .64 | .21 | .13 | .02 | .02 | -.13 | .49 |
| 規則的に仕事をする | .60 | .36 | .05 | -.00 | -.01 | .11 | .50 |
| 計画どおりに実行する | .55 | .39 | .09 | -.06 | -.04 | .08 | .48 |
| 決められた規則は守る | .42 | .15 | -.23 | .02 | -.09 | .26 | .34 |

原 著

| | | | | | | | |
|-------------------|-------|------|------|------|------|------|-----|
| 一つの仕事を終え、他の仕事に移る | .41 | .27 | .12 | -.20 | .04 | .03 | .30 |
| 途中邪魔されても仕事をつづける | .25 | .60 | .18 | .11 | -.07 | .09 | .48 |
| 問題を解くとき、最後まで頑張る | .26 | .58 | .14 | -.06 | -.09 | .06 | .45 |
| 即座に決定をくだす | .10 | .53 | .16 | .04 | .15 | .06 | .35 |
| すべき仕事は最後までやり通す | .24 | .50 | .02 | .14 | -.08 | .27 | .41 |
| 先の見通しをつけ、選択をする | .04 | .47 | -.02 | .40 | .10 | .14 | .41 |
| やりかけたことは途中でやめない | .41 | .46 | .12 | .00 | -.14 | .04 | .42 |
| 細部にわたりきちんと計画を立てる | .43 | .44 | .26 | -.15 | -.04 | -.05 | .47 |
| 引き受けた仕事は最後までやる | .27 | .19 | .06 | -.01 | .02 | .48 | .35 |
| 始めたことは、最後まで頑張る | .32 | .11 | .15 | -.04 | .04 | .44 | .33 |
| 危険でスリルのあることをする | -.11 | .09 | .69 | .18 | -.01 | .07 | .53 |
| 新しいことや変わったことを経験する | -.06 | .05 | .63 | .20 | .26 | .15 | .52 |
| 見知らぬめずらしい場所に行く | .02 | .04 | .63 | .04 | .13 | .12 | .43 |
| 困難な仕事に従事する | .03 | .34 | .57 | .01 | -.23 | .08 | .50 |
| 人のしていない新しい仕事をする | .08 | .19 | .56 | .27 | -.10 | .06 | .44 |
| いろいろなことに好奇心をもつ | .14 | -.02 | .50 | .14 | .14 | .25 | .38 |
| いろいろな楽しみや娯楽を求める | -.01 | -.11 | .32 | -.00 | .61 | -.06 | .49 |
| 自分の能力にあった仕事をえらぶ | .16 | .22 | -.32 | .20 | .17 | .22 | .29 |
| 独力で最高水準の業績をあげる | -.00 | .29 | .31 | .09 | .03 | -.23 | .24 |
| 風変わりな表現や言葉を使う | .06 | -.07 | .25 | .37 | .23 | .02 | .26 |
| 社会で成功する | -.05 | .13 | .02 | .67 | .09 | -.06 | .47 |
| ある分野で第一人者になる | .02 | .11 | .18 | .66 | .07 | -.12 | .50 |
| 物事を他人よりじょうずにする | .15 | .07 | .12 | .57 | .07 | .10 | .38 |
| 他人にとって難しい問題を解決する | .08 | .24 | .32 | .56 | .00 | .08 | .48 |
| 重要な仕事に取り組む | .20 | .30 | .25 | .38 | -.05 | -.15 | .36 |
| 努力が必要な仕事を成し遂げる | .13 | .38 | .52 | .22 | -.28 | .06 | .56 |
| 問題の解決に直接取り組む | -.11 | .26 | .12 | -.12 | .28 | .19 | .22 |
| 報酬に応じた努力をする | .01 | -.01 | -.02 | .06 | .63 | -.02 | .40 |
| 努力に見合う報酬を得る | -.02 | .00 | -.06 | .24 | .54 | .19 | .39 |
| 自分の意見、信念に忠実である | -.08 | .07 | -.10 | .09 | .49 | .16 | .30 |
| 自分のものを大切にす | .42 | .04 | -.13 | .14 | .48 | .13 | .46 |
| 問題をすぐに処理する | -.17 | .18 | .30 | -.03 | .46 | .28 | .44 |
| 自分の考えをすぐにまとめる | .25 | .16 | .27 | .07 | .46 | .09 | .38 |
| 新しい流行を取り入れる | .06 | .27 | .05 | .04 | .43 | -.23 | .32 |
| 自分の物をよい状態に保っておく | .36 | .04 | -.33 | .04 | .42 | -.03 | .42 |
| どんなものでも決まった場所におく | .52 | .07 | .03 | .05 | .12 | .22 | .34 |
| 实际的・能率的に物事を処現する | .01 | .49 | .01 | .18 | .06 | .03 | .28 |
| 仕事を仕上げるため夜遅く迄頑張る | -.10 | .11 | .08 | .14 | -.05 | .60 | .41 |
| 何事にも率直である | .00 | .01 | .18 | -.11 | .05 | .55 | .35 |
| はめをはずさない | .25 | -.30 | .17 | -.11 | .20 | .40 | .38 |
| 感情に左右されずに行動する | .33 | -.08 | .20 | -.14 | -.01 | .50 | .43 |
| 自分自身を十分統制できる | .19 | .03 | .17 | .12 | .09 | .37 | .23 |
| その場の勢いで行動しない | .14 | .01 | .02 | .00 | -.07 | .56 | .34 |
| どんな場合でも、落ち着いている | .18 | -.07 | .09 | .03 | -.07 | .40 | .22 |
| いつもていねいな言葉を使う | .29 | -.14 | .04 | .07 | .00 | .20 | .15 |
| 寄与率 (%) | 10.51 | 6.26 | 6.02 | 4.68 | 4.60 | 4.34 | |

価値観測定尺度の構成

Table 5 中国における対人的価値観の因子分析結果 (ROTATED)

| | F 1 | F 2 | F 3 | F 4 | F 5 | F 6 | h^2 |
|------------------|------|------|------|------|------|------|-------|
| グループの中で、注目の的になる | .79 | -.05 | .01 | .05 | .06 | .09 | .65 |
| 自分の集団のリーダー格になる | .77 | -.01 | .00 | .11 | .03 | .05 | .60 |
| 重要な人物として認められる | .76 | .05 | .03 | -.07 | -.01 | .03 | .59 |
| 自分のしたことが注目される | .67 | .11 | .03 | -.05 | .08 | .18 | .51 |
| 他人に大きな影響力をもつ | .66 | .11 | .17 | .12 | .13 | -.08 | .51 |
| 広い範囲の人々に名前を知られる | .65 | -.05 | .11 | -.22 | .06 | .06 | .49 |
| 他人の役割をきめる | .64 | .11 | -.03 | .12 | -.02 | .05 | .44 |
| リーダーとして尊敬される | .61 | .13 | .05 | .02 | -.07 | -.12 | .41 |
| 自分の考えで人の行動を左右する | .61 | .04 | .01 | -.20 | .19 | .22 | .49 |
| 多くの人々の前で発言する | .60 | .03 | -.03 | .25 | -.01 | -.01 | .42 |
| 決定する場合、重要な役割をとる | .58 | .03 | .07 | .34 | .07 | .06 | .46 |
| 思うことを他人にやらせる | .46 | .21 | .15 | -.10 | .12 | .13 | .32 |
| 他人から頼りにされる人になる | .40 | .06 | .20 | -.04 | .13 | .18 | .25 |
| 正しいと思われる生き方をする | -.01 | .62 | .00 | .12 | -.17 | .18 | .46 |
| 尊敬する人に意見を求める | .08 | .56 | .17 | .26 | -.03 | -.03 | .41 |
| 権威者の意見を知る | .06 | .53 | -.03 | -.00 | .00 | -.08 | .30 |
| 社会的に正しいことをする | -.13 | .53 | .11 | .27 | -.00 | .20 | .42 |
| 自分が尊敬する人の指図に従う | .01 | .53 | .10 | .01 | .15 | .19 | .35 |
| 目上の人から期待されることをする | .11 | .53 | .04 | .15 | -.13 | .02 | .33 |
| 立派な意見をもつ人の指示を受ける | .15 | .50 | .06 | .29 | .05 | -.00 | .36 |
| 尊敬する人に認められるように行動 | .09 | .50 | .38 | -.04 | .23 | .01 | .46 |
| 集団活動でリーダーの指示に従う | .08 | .49 | -.06 | .34 | -.20 | .21 | .46 |
| 常に穏当なことをする | -.04 | .48 | .16 | -.08 | .09 | .26 | .34 |
| 人にどんな印象を与えるかを知る | .25 | .47 | .24 | -.05 | -.04 | .08 | .35 |
| まわりの人々に合わせて行動する | -.05 | .46 | .09 | -.00 | -.11 | .44 | .43 |
| 味方になってくれる人がいる | .19 | .41 | .38 | -.13 | .11 | .04 | .38 |
| ものを決めるとき、他人に相談する | .09 | .40 | .23 | .36 | -.06 | -.00 | .36 |
| 自分の成し遂げたことが評判になる | .35 | .38 | .25 | -.11 | .11 | .04 | .35 |
| 皆に受け入れられるように行動する | .14 | .36 | .11 | .32 | -.13 | .28 | .36 |
| 自分の上に立つ人を賞賛する | .20 | .30 | .02 | .10 | -.13 | .14 | .18 |
| 理解のある友人をもつ | .02 | .05 | .72 | .11 | .19 | .15 | .59 |
| 悩みを打ち明けられる人がいる | -.01 | .15 | .72 | .06 | .05 | .15 | .57 |
| 失敗の時、励ましてくれる人がいる | .12 | .31 | .69 | .10 | -.07 | -.01 | .60 |
| 親友と呼べる友達がいる | .04 | .01 | .67 | .09 | .12 | .15 | .49 |
| 私を元気づけてくれる友人がいる | .09 | .22 | .65 | .10 | -.12 | -.07 | .51 |
| 困っている時、友達に助けてもらう | .21 | .38 | .53 | .14 | -.09 | .03 | .50 |
| 友達と親密になる | .06 | -.05 | .51 | .19 | .08 | .21 | .36 |
| 友達と協力する | .02 | .12 | .49 | .39 | .17 | .16 | .46 |
| 病気の時友達が気をつかってくれる | .14 | .31 | .49 | .07 | -.08 | .16 | .40 |
| できるだけ多くの友人をつくる | .31 | -.13 | .34 | .02 | -.08 | .33 | .35 |
| 真実を追求する | -.10 | .16 | .09 | .63 | .11 | -.10 | .46 |
| あいまいな態度をとらない | .10 | .07 | .01 | .58 | .27 | .08 | .43 |
| 他人のためになることをする | -.03 | .02 | .02 | .58 | -.09 | .28 | .41 |
| 物事を真剣に考える | .07 | .19 | .09 | .56 | .30 | -.20 | .49 |
| 物事の筋を通す | .00 | .13 | .13 | .50 | .10 | -.10 | .31 |

| | 原 | | 著 | | | | |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 物事の善悪をはっきりさせる | .02 | .19 | .15 | .46 | .24 | .07 | .33 |
| 言い争いの時、仲裁役につく | .15 | .03 | .18 | .43 | -.12 | .40 | .41 |
| 常に道徳的に正しいことをする | -.19 | .36 | .07 | .41 | -.05 | .22 | .39 |
| 友達が困っている時、助けてあげる | .07 | -.04 | .32 | .41 | .17 | .28 | .38 |
| 命令されずに仕事をする | .02 | .02 | .06 | .06 | .65 | -.03 | .43 |
| 他人に依存しないで、仕事をする | .07 | .12 | -.17 | .18 | .58 | .16 | .44 |
| 自分のことはすべて自分で決定する | .08 | -.09 | -.11 | -.03 | .57 | .18 | .38 |
| 自分がやりたいと思うことをする | .00 | -.10 | .29 | -.13 | .56 | .02 | .43 |
| 他人の意見にまどわされずに決定する | .18 | -.05 | -.00 | .20 | .55 | .07 | .38 |
| 型にはまらず自分の考えで行動する | .11 | -.15 | .20 | -.00 | .51 | -.04 | .34 |
| 他人の言うことにまどわされない | .14 | -.09 | .06 | .25 | .49 | -.06 | .34 |
| 他人から言われても気が変わらない | .05 | .02 | -.02 | .30 | .47 | -.04 | .32 |
| 反対されても自分の立場を弁解する | .20 | .07 | .04 | -.10 | .24 | .18 | .14 |
| いつも仲間といっしょにいる | .12 | .12 | .23 | .04 | -.12 | .57 | .42 |
| 自分が経験した冒険などを人に話す | .28 | .07 | .11 | -.26 | .08 | .48 | .40 |
| 他人の知らない面白い話をする | .30 | .16 | .05 | -.05 | .04 | .46 | .33 |
| 他人のために時間をつかう | .09 | .01 | .12 | .36 | -.03 | .43 | .34 |
| 自分のことを打ち明ける | .10 | .11 | -.01 | .10 | .06 | .42 | .22 |
| だれにでも寛大である | .03 | .08 | .05 | .06 | .17 | .42 | .22 |
| 不幸な人に親切にしてあげる | -.11 | .05 | .28 | .34 | .17 | .36 | .37 |
| 何かをする前他人の気持ちを考える | .06 | .33 | .13 | .24 | .02 | .35 | .30 |
| 弱いものの味方になる | -.08 | .11 | .10 | .05 | .30 | .33 | .23 |
| どんな人とでも仲良くする | -.05 | .27 | .08 | -.06 | .09 | .30 | .18 |
| 寄与率 (%) | 7.81 | 6.69 | 6.28 | 5.18 | 4.29 | 3.82 | |

Table 6 中国における個人的価値観、対人的価値観下位尺度の α 係数 (N = 398)

| 個人的価値観 | 達成 | 持久 | 多様 | 自己統制 | 実際 |
|--------|-----|-----|-----|------|-----|
| 秩序 | .56 | .62 | .49 | .66 | .52 |
| 対人的価値観 | | | | | |
| 指導 | .62 | .50 | .44 | .51 | .61 |
| 支持 | | | | | |
| 独立 | | | | | |
| 親和 | | | | | |
| 同調 | | | | | |
| 社会真実 | | | | | |

中国の大学生の個人的価値観の因子構造について、一般的に、予想された価値観のカテゴリー、次元が独立した因子として抽出された。しかし、一部の項目群、例えば、特に“決定・目標指向”カテゴリーに属すると考えられたいくつかの項目間に一貫した対応関係がみられず、あまり明確な解釈ができない。

(2) 対人的価値観に属すると思われる68項目について、同様な手続きにより6因子が抽出された。なお、回転後の因子負荷行列は Table 5 に示されている。

第I因子には、“指導・承認”に関する項目が集まっている。

第II因子は、“同調”と“服従”という2つの内容の

次元からなっている。しかし、特に“服従”と関連する項目の中に、2つ以上の因子に高い因子負荷を示すものが多くみられている。

第III因子は、友達に助けを求めようという“支持”を表す因子である。

第IV因子に含まれる項目は、“社会的真実”を追求するものが多いが、“博愛・利他”を表すものもある。

第V因子は“独立”因子である。

第VI因子に、“親和・利他”と関連する項目が集中している。

対人的価値観の因子分析の結果から明らかのように、全体の傾向として、多くの項目群に対応関係がみられ、

事前に設定された価値観カテゴリーと一致したものが得られたといえよう。

各下位尺度内の信頼性：個人的価値観（53項目）と対人的価値観（68項目）について、因子分析の結果から構成された各下位尺度の内的整合性を調べるため、それぞれの α 係数を算出した。その結果は、Table 6 に示されている。Table 6 をみると、個人的価値観と対人的価値観の各下位尺度の α 係数は、特に個人的価値観のいくつかの尺度で比較的低いものもみられたが、全体的に、高い値を示し、各下位尺度内に一貫した関係があることを表している。

予備調査の考察

I と II の予備調査により、尺度構成を中心に中国と日本の大学生の価値観について検討した。121項目を個人的価値観と対人的価値観という2つに分類し、それぞれ、因子構造の異同、下位尺度の信頼性などについて吟味してきた。その結果、それぞれの因子構造にみられる下位尺度が、ある程度予想された価値観のカテゴリー、次元とあまりくいちがいはないことが明らかにされた。

しかし、特に個人的価値観の因子構造において、日本と中国の大学生間に多少の異なる点がみられた。また、理論的観点から予想されたいくつかの価値観次元、例えば、“自己決定”、“目標指向”、“服従”などに関連する項目群に一貫した対応関係がみられず、因子構造、下位尺度の内的整合性に影響を与えている。そのために、各下位尺度の α 係数が低くなっており、因子構造において2つ以上の因子に高い因子負荷を示したり、どの因子にも高い因子負荷を示さなかったりするような項目も数多くみられた。そこで、尺度構成のため、さらに厳密に項目選択を行う必要があると思われる。

そのためにまず、それぞれの下位尺度の項目数のバランスを考慮する必要がある。そこで、因子負荷の状況を見ながら、項目数の多い（10以上）尺度について質問項目のことば、表現に問題があると思われるものが排除される。例えば、“同調”尺度に属している“自分の上に立つ人を賞賛する”という項目は、あいまいで、日本、中国の両方において因子負荷が低くなっている。

次に、下位尺度のより高い内的整合性を得るために、それらの α 係数を特に低くさせている項目についても排除される。

さらに、日本、中国間の因子構造の対応性を考慮し、どの因子にも高い因子負荷を示さなかった、あるいは解釈できない項目について検討した。先行研究、理論的観点からそれらの項目の内容を吟味した上で、例えば、

“目標指向”のような東洋文化圏の日本、中国の大学生にとって適切でないと思われるもの、また“服従”のように時代の変遷によって意味が変化しているカテゴリーがあると判断した。

このようにして、因子構造から、質問項目を次元化、尺度化し、各下位尺度の内的整合性について検討した。より安定した因子構造、尺度内の高い信頼性を得た上で、中国と日本の両方において問題のあると思われる40項目を排除し、個人的価値観38項目と対人的価値観43項目、合計81項目を選択した。

以上のように、日本と中国での予備調査の分析結果から、価値観調査用紙（以下では、MSPV：Measurement Scale of Personal Value, MSIV：Measurement Scale of Interpersonal Value と記述する）が作成された。

構成されたMSPVとMSIV価値観測定尺度の因子構造にみられる各下位尺度が、理論的観点から想定された価値観のカテゴリーとほぼ一致しており、東洋文化の特徴を表すようなものをも含み、日本と中国の大学生の価値観のより多様な側面をとらえていると考えられる。

以上のように、予備調査で日本と中国の大学生を対象として、価値観の測定尺度MSPVとMSIVの因子構造、下位尺度の信頼性などが検討され、尺度構成が行われた。その結果、全体的にMSPVとMSIVが、日本と中国間で因子構造の対応性が得られ、下位尺度が信頼性をもつことが示された。

本 調 査

目 的

予備調査によって中国及び日本の大学生の価値観を測定するためのMSPVとMSIV尺度が作成された。この測定尺度を用いて、中国と日本の大学生に対して調査し、尺度内の関係、因子構造の安定性などを検討、確認する必要がある。

一方、比較文化的研究において、質問項目の信頼性、妥当性について問題が特に多いことは常に指摘されている。日本と中国で比較可能な価値観構成尺度を作成するために、独立した外的基準、構成概念的な基準における質問紙の妥当性についても検討を加える必要があると思われる。

したがって、今回の調査においては、構成尺度の信頼性、因子構造の検討に加え、構成概念妥当性について調べるために、Rokeach (1968) によって開発された36項目からなる価値観調査用紙（以下RSVと略記する）を加えて、同時に調査する。

方 法

測定尺度：

1) 予備調査によって構成されたMSPV (38項目)とMSIV (43項目)、合計81項目を用いる。回答形式は、“きわめて重要である”から、“まったく重要でない”までの7段階評定である。

2) Rokeach (1968) の価値観調査用紙 (RSV) を用いる。それは、手段価値観 (instrumental value) と目的価値観 (terminal value) という2つの部分に分けられ、それぞれ18項目からなっている。本研究では、それらの36項目は、カード式にされ、それぞれ、被験者に重要と思われる順に並べかえて回答用紙に記入させた。

被調査者：日本側は、名古屋大学、三重大学の大学生402名で、その内男子169名、女子233名である。

中国側は、杭州大学の大学生366名で、その内男子214名、女子152名である。

調査実施：日本側では、1985年10月に、中国では、1986年9月にそれぞれ、調査が行われた。

結 果

因子分析：日本と中国のデータを分けて、個人的価値観と対人的価値観について、それぞれ、主因子法による因子分析をし、バリマックス法で回転を行った。

個人的価値観の38項目について、中国と日本で、それぞれ6因子が抽出された。回転後の因子負荷行列は、日本の場合、寄与率の大きい順に、Table 7 に示されている。中国の大学生における因子分析の結果は、Table 8 に示すとおりであるが、この表中の因子は、日本の大学生の結果と比較しやすいように、Table 7 と同じ順序に並べかえられている。抽出された因子については、それぞれ因子命名が行われた。

第I因子は、日本と中国ともに同じく、“計画性・秩序”と関連する項目がほとんどで、“秩序”と名付けた。

日本と中国の大学生で第II因子として抽出されたのは、長い時間にわたって仕事をつづける、最後までやるといったような“持久・責任感”を表す因子である。

チャレンジ、努力することと関連する項目群は、第III因子として、それぞれ抽出され、“達成”因子と命名された。

第IV因子には、自分のものを大切にすること、損をしないといったような“合理的・实际的”と関連する項目が集中している。

物事の多様性、新奇性を求めることを示す7項目は、V番目の因子として抽出され、“多様性・新奇性”と命名された。

第VI因子に属する項目の内容は、個人の感情を外に出さないこと、落ち着くこと、冷静さを保つことである。この因子は、“自己統制”と名付けられた。

以上の結果から、東洋文化に重要と思われる価値観次元が独立した因子として抽出されており、日本と中国の大学生における個人的価値観の因子構造が、全体的に、ほぼ対応している。

対人的価値観の43項目についても、同様な手続きにより因子分析が行われた。日本と中国と同じ6因子が抽出され、それぞれ全分散の47%、46%が説明されている。日本での回転後の因子負荷行列は、各因子の寄与率の大きい順に、Table 9 に示されている。中国の大学生で抽出された因子についても、日本の場合と同じ順序に並べかえられ、Table 10 に示してある。

他人に助けをもらおうといった“支持”と関連する項目が、第I因子に集まっている。

第II因子は、他人に合わせて行動する、常に穏当なことをするといったように、マイペースで行動するより、既存のルールに従う、みんなに受け入れられるようにする傾向を示し、“同調”と命名された。

第III因子に含まれる項目は、リーダーになる、注目されることがのぞましいと考えるといった2つの内容が合わさっている。この因子は、“指導・承認”と命名された。

第IV因子には、個人の独立、自己決定を強調する項目が含まれており、“独立”と名付けられた。

日本と中国の大学生での第V因子として抽出されたのは、“物事の善悪をはっきりさせる”、“物事の筋を通す”といった“社会的真実”を追究する因子である。

“支持”因子の内容と対照的な“他人のためになることをする”、“仲間といっしょにいる”ような“親和・利他”を表す項目は、第VI因子に多くみられている。

以上の結果から、日本と中国の大学生における対人的価値観の因子構造はいくつかの下位尺度において多少のくいちがいが見られるものの、全体として類似しており、日本と中国の比較に必要な因子構造の対応性が得られているといえよう。

各下位尺度の信頼性：個人的価値観と対人的価値観について、中国と日本のデータそれぞれで下位尺度ごとに算出された α 係数の結果は、Table 11, 12 に示されている。

構成されたMSPVとMSIVの各下位尺度において、 α 係数は、全体的に高く、それぞれの項目群に一貫した対応関係が見られている。

構成尺度の妥当性：RSVから得られた目的価値観と手段価値観のデータについて、日本と中国を別にして、

価値観測定尺度の構成

Table 7 日本におけるMSPVの因子分析の結果 (ROTATED)

N = 402

| | F 1 | F 2 | F 3 | F 4 | F 5 | F 6 | h^2 |
|-------------------|-------|------|------|------|------|------|-------|
| 規則正しい人間である | .80 | .06 | .09 | .05 | -.06 | .20 | .69 |
| 規則正しい生活をする | .78 | .06 | -.12 | .02 | .05 | .07 | .64 |
| 規則的に仕事をする | .68 | .09 | -.15 | .08 | -.02 | .04 | .52 |
| 予定表を作り、その通りに勉強する | .66 | .08 | .19 | .06 | -.21 | .04 | .52 |
| 食事は規則正しくする | .64 | .08 | -.11 | .04 | -.01 | .07 | .43 |
| 計画どおりに実行する | .58 | .21 | .29 | .17 | -.11 | .07 | .51 |
| 仕事を計画的にすすめる習慣をもつ | .57 | .25 | .28 | .01 | -.11 | .14 | .50 |
| 一つの仕事を終え、他の仕事に移る | .37 | .32 | .02 | .09 | .05 | .15 | .31 |
| やり始めたことは、最後まで頑張る | .13 | .73 | .05 | .01 | .10 | .27 | .63 |
| 引き受けた仕事は最後までやる | .07 | .72 | -.04 | .20 | .03 | -.01 | .57 |
| すべき仕事は最後までやり通す | .06 | .70 | .12 | .22 | .05 | .02 | .56 |
| やりかけたことは途中でやめない | .27 | .69 | .19 | -.01 | -.01 | .08 | .59 |
| 問題を解くとき、最後まで頑張る | .26 | .63 | .01 | -.07 | .02 | -.07 | .47 |
| 他人にとって難しい問題を解決する | .12 | .09 | .72 | .08 | .02 | .05 | .55 |
| 重要な仕事に取り組む | .06 | .24 | .59 | .02 | .12 | .19 | .45 |
| ある分野で第一人者になる | .06 | .22 | .58 | .14 | .21 | .01 | .45 |
| 物事を他の人よりじょうずにする | .10 | -.19 | .57 | .42 | -.07 | -.05 | .56 |
| 社会で成功する | .07 | .05 | .46 | .38 | .02 | -.11 | .39 |
| 努力が必要な仕事を成しとげる | .14 | .53 | .39 | -.13 | -.01 | .12 | .49 |
| 自分のものを大切にする | .28 | .26 | -.08 | .61 | .10 | .10 | .55 |
| 努力にみあう報酬を得る | .07 | -.01 | .40 | .60 | -.11 | .04 | .54 |
| 報酬に応じた努力をする | .08 | -.01 | .17 | .56 | -.02 | .05 | .36 |
| 自分の所有物をよい状態に保つ | .27 | .12 | -.04 | .50 | .14 | .08 | .37 |
| 实际的・能率的に物事を処理する | .05 | .07 | .19 | .42 | -.01 | .41 | .39 |
| どんなものでも決まった場所におく | .56 | .08 | .21 | .09 | .08 | -.03 | .38 |
| 見知らぬめずらしい場所に行く | -.02 | -.02 | .04 | -.08 | .81 | .08 | .66 |
| 新しいことや変わったことを経験する | -.07 | .11 | .27 | .04 | .74 | .06 | .65 |
| 危険でスリルのあることをする | .01 | -.05 | .05 | .22 | .58 | -.23 | .45 |
| いろいろなことに好奇心をもつ | -.13 | .29 | .19 | .08 | .49 | .16 | .42 |
| 人のしていない新しい仕事をする | .01 | .13 | .65 | -.01 | .41 | .14 | .61 |
| いろいろな楽しみや娯楽を求める | -.21 | .02 | .06 | .46 | .36 | .03 | .42 |
| 風変わりな表現や言葉を使う | .01 | -.20 | .42 | .21 | .28 | -.16 | .36 |
| どんな場合でも、落ち着いている | .12 | .07 | .15 | .14 | .05 | .74 | .61 |
| 感情に左右されずに行動する | .19 | .01 | .22 | -.04 | -.07 | .59 | .44 |
| 自分自身を十分統制できる | .11 | .10 | -.10 | .19 | .07 | .58 | .41 |
| その場のいきおいで行動しない | .36 | .08 | -.11 | -.12 | -.01 | .54 | .46 |
| はめをはずさない | .41 | .08 | -.06 | .05 | -.12 | .41 | .41 |
| いつもていねいな言葉を使う | .41 | .12 | -.11 | .04 | .23 | .36 | .39 |
| 寄与率 (%) | 12.24 | 8.89 | 8.68 | 7.05 | 6.76 | 6.42 | |

Table 8 中国におけるMSPVの因子分析結果 (ROTATED)

N = 366

| | F 1 | F 2 | F 3 | F 4 | F 5 | F 6 | h^2 |
|-------------------|-------|------|------|------|------|------|-------|
| 規則正しい人間である | .69 | .05 | .07 | -.08 | -.03 | .36 | .62 |
| 仕事を計画的にすすめる習慣をもつ | .69 | .28 | .18 | .13 | -.09 | .01 | .61 |
| 規則正しい生活をする | .68 | -.07 | .10 | -.04 | -.05 | .39 | .64 |
| 計画どおりに実行する | .67 | .26 | .02 | .29 | .03 | -.01 | .60 |
| 予定表を作り, その通りに勉強する | .60 | .19 | .14 | .11 | -.10 | -.01 | .44 |
| 規則的に仕事をする | .58 | .42 | .20 | -.01 | -.02 | .03 | .55 |
| 一つの仕事を終え, 他の仕事に移る | .39 | .38 | -.07 | .17 | .02 | .12 | .34 |
| 食事は規則正しくする | .50 | -.16 | .10 | -.08 | -.03 | .51 | .55 |
| 問題を解くとき, 最後まで頑張る | .04 | .65 | .11 | -.04 | .10 | .03 | .45 |
| やりかけたことは途中でやめない | .34 | .51 | .02 | -.15 | .06 | .13 | .41 |
| すべき仕事は最後までやり通す | .33 | .50 | .07 | -.03 | .07 | -.20 | .41 |
| 始めたことは, 最後まで頑張る | .11 | .48 | .04 | .00 | .02 | .06 | .25 |
| 引き受けた仕事は最後までやる | .17 | .42 | -.13 | -.11 | .29 | .05 | .33 |
| ある分野で第一者になる | -.03 | .05 | .68 | .16 | -.01 | -.08 | .50 |
| 重要な仕事に取り組む | .06 | .14 | .65 | -.03 | .05 | .16 | .47 |
| 社会で成功する | .09 | .02 | .60 | .05 | .04 | -.04 | .38 |
| 物事を他の人よりじょうずにする | .18 | -.03 | .57 | .17 | .15 | .17 | .44 |
| 努力が必要な仕事を成し遂げる | .19 | .38 | .55 | -.24 | .16 | .03 | .56 |
| 他人にとって難しい問題を解決する | .24 | -.09 | .50 | -.13 | .25 | .01 | .40 |
| 報酬に応じた努力をする | .05 | -.09 | .10 | .73 | -.01 | -.01 | .56 |
| 努力にみあう報酬を得る | .07 | -.04 | .13 | .71 | .11 | .05 | .54 |
| どんなものでも決まった場所におく | .39 | .21 | .10 | .32 | -.01 | .25 | .38 |
| 実際の・能率的に物事を処理する | .33 | .01 | .18 | .34 | .05 | -.03 | .26 |
| 自分のものを大切にする | .20 | .28 | .06 | .30 | -.13 | .56 | .53 |
| 自分の所有物をよい状態に保つ | .14 | .34 | -.05 | .31 | -.19 | .51 | .53 |
| 見知らぬめずらしい場所に行く | .03 | -.07 | .18 | -.02 | .54 | -.25 | .39 |
| 新しいことや変わったことを経験する | -.13 | .20 | .33 | .06 | .53 | -.04 | .45 |
| いろいろな楽しみや娯楽を求める | -.08 | .02 | .08 | .17 | .53 | .29 | .41 |
| 危険でスリルのあることをする | .03 | .14 | .18 | -.08 | .52 | -.28 | .40 |
| いろいろなことに好奇心をもつ | -.12 | .19 | .34 | .09 | .50 | .19 | .47 |
| 風変わりな表現や言葉を使う | -.04 | -.13 | .41 | .22 | .42 | .04 | .42 |
| 人のしていない新しい仕事をする | -.02 | .28 | .50 | -.15 | .39 | -.04 | .50 |
| いつもていねいな言葉をつかう | .13 | .06 | .12 | -.18 | .21 | .54 | .40 |
| はめをはずさない | .33 | .09 | -.04 | .03 | .10 | .51 | .40 |
| 感情に左右されずに行動する | .21 | .18 | .04 | -.20 | .11 | .47 | .42 |
| 自分自身を十分統制できる | .46 | -.02 | .01 | .09 | .06 | .44 | .42 |
| その場の勢いで行動しない | .43 | .17 | -.03 | -.02 | .08 | .36 | .35 |
| どんな場合でも, 落ち着いている | .37 | .09 | -.13 | -.02 | .11 | .40 | .33 |
| 寄与率 (%) | 11.68 | 6.79 | 8.18 | 5.29 | 5.53 | 7.29 | |

価値観測定尺度の構成

Table 9 日本におけるMSIVの因子分析の結果 (ROTATED)

N = 402

| | F 1 | F 2 | F 3 | F 4 | F 5 | F 6 | h^2 |
|-------------------|-------|------|------|------|------|------|-------|
| 悩みを打ち明けられる人がある | .82 | .03 | .10 | -.01 | .09 | .01 | .69 |
| 失敗した時、励ましてくれる人がある | .82 | .06 | .07 | .04 | .07 | -.02 | .68 |
| 親友と呼べる友だちがある | .80 | -.02 | .08 | -.02 | -.04 | .04 | .65 |
| 私を元気づけてくれる友人がある | .80 | .01 | .04 | .07 | -.01 | .07 | .65 |
| 理解のある友人をもっている | .77 | .02 | .08 | .10 | .04 | .21 | .61 |
| 病気の時、友達が気をつけてくれる | .69 | .34 | .13 | -.20 | .07 | .13 | .56 |
| 困っているとき、友達に助けてもらう | .44 | .27 | .16 | -.01 | .13 | .01 | .32 |
| 社会的に正しいことをする | .17 | .75 | .03 | .17 | .10 | .02 | .64 |
| 一般に正しいと思われる生き方をする | .09 | .70 | -.04 | -.10 | .14 | .10 | .56 |
| 常に道徳的に正しいことをする | .20 | .69 | .08 | .11 | .01 | .05 | .54 |
| 常に穏当なことをする | .03 | .60 | .10 | -.20 | .10 | .03 | .43 |
| まわりの人々にあわせて行動する | .11 | .49 | .01 | -.38 | .14 | .20 | .46 |
| 皆に受けられるように行動する | .19 | .46 | .03 | -.24 | .21 | .07 | .36 |
| 目上の人から期待されることをする | .03 | .34 | .28 | .01 | .33 | .11 | .39 |
| 人にどんな印象を与えるかを知る | .20 | .09 | .13 | -.19 | .24 | .36 | .31 |
| リーダーとして尊敬される | .06 | .07 | .80 | .11 | .02 | -.08 | .67 |
| 所属している団体のリーダー格になる | .07 | .07 | .77 | .03 | .05 | -.06 | .62 |
| 重要な人物として認められる | -.04 | .16 | .73 | .09 | .01 | .11 | .60 |
| 広い範囲の人々に名前を知られる | .03 | .30 | .65 | -.02 | -.01 | .04 | .53 |
| 大いの人々の前で発言する | .17 | -.03 | .51 | .29 | -.12 | -.04 | .39 |
| 自分の考えが人の行動を左右する | -.01 | .02 | .41 | .01 | .21 | .27 | .30 |
| 自分の経験した冒険を人に話す | .08 | .01 | .37 | .01 | .13 | .46 | .64 |
| 他人の知らない面白い話しをする | .04 | .10 | .32 | .02 | .23 | .40 | .53 |
| グループの中で、注目の的になる | .02 | .01 | .41 | -.07 | .68 | .03 | .69 |
| 自分のしたことが注目される | -.05 | -.08 | .22 | .04 | .49 | .41 | .63 |
| 他人の意見にまどわされず決定を下す | -.07 | -.07 | -.12 | .73 | .03 | -.01 | .56 |
| 他人の言うことにまどわされない | .03 | -.09 | -.02 | .72 | .09 | .24 | .53 |
| 型にはまらず、自分の考えで行動する | .02 | .13 | -.23 | .69 | -.04 | .05 | .56 |
| 自分のことはすべて自分で決定する | -.06 | -.03 | -.11 | .59 | .02 | .09 | .39 |
| 他人に言われても、気が変わらない | .04 | .04 | -.04 | .58 | .06 | -.12 | .37 |
| 命令されずに仕事をする | .08 | .10 | -.05 | .56 | .13 | .01 | .35 |
| 他人に依存しないで、仕事をする | .01 | -.16 | .14 | .51 | -.03 | .23 | .31 |
| 自分がやりたいと思うことをする | .05 | .45 | -.26 | .50 | .01 | .07 | .45 |
| 真実を追求する | .17 | .19 | -.06 | .04 | .59 | .11 | .45 |
| あいまいな態度を取らない | .30 | .08 | .08 | .13 | .50 | -.02 | .32 |
| 物事を真剣に考える | .08 | .26 | .04 | -.21 | .49 | -.04 | .35 |
| 物事の筋を通す | .10 | .22 | .17 | .23 | .48 | -.20 | .33 |
| 物事の善悪をはっきりさせる | -.02 | .45 | .10 | .10 | .43 | -.04 | .37 |
| 自分自身のことを打ち明ける | .01 | .12 | .06 | .01 | .07 | .69 | .54 |
| 他人のために自分の時間を使う | -.03 | -.04 | .09 | .16 | -.04 | .42 | .30 |
| 何かをする前に、他人の気持を考える | -.07 | .09 | .20 | .20 | -.08 | .40 | .28 |
| いつも仲間といっしょにいる | .21 | .41 | -.04 | -.32 | .21 | .36 | .42 |
| 誰にでも寛大である | .22 | .36 | .01 | .15 | .14 | .03 | .29 |
| 寄与率 (%) | 10.40 | 8.63 | 8.21 | 7.70 | 6.72 | 5.00 | |

Table 10 中国におけるMSIVの因子分析結果 (ROTATED)

N = 366

| | F 1 | F 2 | F 3 | F 4 | F 5 | F 6 | h^2 |
|-------------------|-------|------|-------|------|------|------|-------|
| 失敗した時、励ましてくれる人がいる | .78 | .17 | .05 | -.01 | .04 | .01 | .63 |
| 私を元気づけてくれる友人がいる | .76 | .21 | .00 | -.01 | .01 | -.01 | .61 |
| 理解のある友人をもっている | .71 | .04 | .01 | .06 | .07 | .05 | .51 |
| 困っているとき、友達に助けてもらう | .69 | .07 | .10 | -.03 | -.02 | .13 | .51 |
| 悩みを打ち明けられる人がいる | .68 | .17 | .02 | .04 | .02 | .12 | .50 |
| 病気の時、友達が気をつかってくれる | .60 | .04 | .08 | .06 | .01 | .22 | .42 |
| 親友と呼べる友達がいる | .58 | .02 | .08 | .10 | .10 | .07 | .37 |
| 社会的に正しいことをする | .11 | .64 | .02 | -.08 | -.09 | .31 | .54 |
| 常に道徳的に正しいことをする | .16 | .63 | -.09 | -.08 | .04 | .35 | .56 |
| 皆に受けいられるよう行動する | .18 | .42 | .25 | -.14 | .07 | .26 | .36 |
| 目上の人から期待されることをする | .20 | .39 | .22 | -.22 | -.01 | .23 | .34 |
| 人にどんな印象を与えるかを知る | .22 | .20 | .39 | -.07 | -.12 | .35 | .38 |
| 常に穏当なことをする | .06 | .25 | .09 | -.16 | .06 | .54 | .39 |
| 一般に正しいと思われる生き方をする | .31 | .38 | .10 | -.15 | .01 | .46 | .48 |
| まわりの人々にあわせて行動する | .13 | .26 | .03 | -.08 | .05 | .53 | .37 |
| グループの中で、注目的になる | .02 | .05 | .82 | .04 | .07 | -.06 | .69 |
| 重要な人物として認められる | .06 | -.06 | .79 | .05 | -.17 | .04 | .67 |
| 所属している団体のリーダー格になる | .06 | .16 | .79 | .03 | -.02 | -.07 | .66 |
| リーダーとして尊敬される | .04 | -.01 | .71 | -.10 | -.01 | .10 | .53 |
| 自分のしたことが注目される | .07 | -.02 | .70 | -.02 | .07 | .11 | .52 |
| 広い範囲の人々に名前を知られる | .00 | -.01 | .66 | .04 | .05 | -.01 | .44 |
| 自分の考えが人の行動を左右する | .02 | -.13 | .56 | .03 | .13 | .16 | .38 |
| 多くの人々の前で発言する | -.02 | .20 | .55 | .16 | .33 | -.18 | .50 |
| 他人の知らない面白い話しをする | .17 | .02 | .34 | -.05 | .51 | .32 | .51 |
| 自分の経験した冒険を人に話す | .19 | -.29 | .39 | -.13 | .48 | .20 | .56 |
| 他人の言うことにまどわされない | .12 | .15 | .09 | .65 | -.02 | -.15 | .49 |
| 型にはまらず、自分の考えで行動する | .04 | -.15 | .02 | .64 | .06 | -.03 | .44 |
| 他人にいわれても、気が変わらない | .04 | .09 | .02 | .64 | -.07 | -.06 | .43 |
| 命令されずに仕事をする | .06 | -.01 | -.02 | .62 | -.03 | .04 | .39 |
| 自分のことはすべて自分で決定する | -.05 | -.09 | .01 | .56 | .02 | .05 | .32 |
| 他人の意見にまどわされず決定を下す | -.01 | .04 | .04 | .55 | -.09 | -.13 | .33 |
| 他人に依存しないで、仕事をする | -.05 | .04 | -.07 | .52 | .10 | .11 | .30 |
| 自分がやりたいと思うことをする | .02 | -.35 | .08 | .48 | .06 | .13 | .38 |
| あいまいな態度をとらない | .17 | .20 | -.13 | .36 | .50 | -.07 | .47 |
| 真実を追求する | .07 | .36 | -.28 | .38 | .37 | .16 | .49 |
| 物事を真剣に考える | .13 | .10 | .01 | .36 | .51 | -.08 | .42 |
| 物事の筋を通す | .10 | .27 | -.01 | .06 | .43 | -.17 | .30 |
| 物事の善悪をはっきりさせる | .25 | .06 | -.06 | .22 | .38 | .09 | .27 |
| 何かをする前に、他人の気持を考える | .16 | -.03 | .13 | .01 | .03 | .60 | .40 |
| いつも仲間といっしょにいる | .36 | .04 | -.01 | -.12 | .15 | .46 | .38 |
| 他人のために自分の時間を使う | .01 | -.04 | .01 | .14 | -.05 | .45 | .22 |
| 誰にでも寛大である | -.01 | .07 | -.13 | .18 | .23 | .44 | .30 |
| 自分自身のことを打ち明ける | -.01 | .06 | .11 | -.12 | .41 | .31 | .41 |
| 寄与率 (%) | 10.35 | 5.09 | 10.98 | 8.16 | 4.58 | 6.47 | |

価値観測定尺度の構成

Table 11 日本におけるMSPVとMSIVの下位尺度の α 係数(N=402)

| | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|------|------|--|
| 個人的価値観 | | | | | | |
| 秩序 | 達成 | 持久 | 多様 | 自己統制 | 実際 | |
| .65 | .68 | .69 | .52 | .70 | .65 | |
| 対人的価値観 | | | | | | |
| 指導 | 支持 | 独立 | 親和 | 同調 | 社会真実 | |
| .74 | .69 | .57 | .58 | .69 | .63 | |

Table 12 中国におけるMSPVとMSIVの下位尺度の α 係数(N=366)

| | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|------|------|--|
| 個人的価値観 | | | | | | |
| 秩序 | 達成 | 持久 | 多様 | 自己統制 | 実際 | |
| .84 | .73 | .60 | .69 | .61 | .59 | |
| 対人的価値観 | | | | | | |
| 指導 | 支持 | 独立 | 親和 | 同調 | 社会真実 | |
| .86 | .83 | .75 | .58 | .77 | .60 | |

Table 13 日本と中国における目的価値観(RSV)のQ因子得点
(ROTATED)

| | 日 本 | | | 中 国 | | |
|---------|------|------|------|------|------|------|
| | F 1 | F 2 | F 3 | F 1 | F 2 | F 3 |
| 世界平和 | -.46 | -.37 | -.18 | .32 | -.43 | .34 |
| 家族の安全 | -.32 | -.01 | .06 | -.15 | -.03 | .30 |
| 国家の安全 | -.16 | -.37 | .30 | .27 | -.45 | .27 |
| 平等 | -.20 | -.30 | -.28 | -.05 | -.20 | .12 |
| 自由 | -.14 | .15 | -.20 | -.34 | -.24 | -.11 |
| 真の友情 | -.14 | .20 | -.12 | -.19 | -.10 | -.06 |
| 幸福 | -.31 | .26 | .05 | -.10 | .30 | .22 |
| 楽しみ | -.04 | .27 | .27 | -.27 | .16 | .11 |
| 快適な生活 | -.05 | .12 | .48 | -.05 | .37 | .33 |
| 活気のある生活 | .01 | .25 | .21 | .06 | .10 | -.11 |
| 完全な愛 | .01 | .12 | -.23 | -.24 | .07 | -.06 |
| 自己信頼 | .17 | .28 | -.10 | -.18 | -.19 | -.25 |
| 英 智 | .29 | .03 | -.31 | .01 | -.11 | -.38 |
| 精神の調和 | .24 | .18 | -.34 | -.21 | .08 | -.09 |
| 美の世界 | .26 | -.22 | -.13 | .02 | .09 | -.03 |
| 信仰の救い | .31 | -.38 | .12 | .42 | .41 | .17 |
| 社会的貢献 | .31 | -.20 | .13 | .48 | .08 | -.39 |
| 社会的承認 | .25 | -.03 | .28 | .18 | .11 | -.34 |

それぞれQ因子分析をし、3因子ずつ抽出した。その各3因子の因子得点行列(Table13, 14を参照されたい)から、それぞれの項目群の内容を吟味し、因子の解釈を行った。

(1) 目的価値観の18項目について

第I因子：日本の大学生においては、“社会的貢献”、

“信仰による救い”などの項目より、“世界平和”、“家族の安全”などの項目に高い順位をつけており、“安全・穏当”といった因子である。中国の場合、“社会的貢献”、“信仰による救い”、“世界平和”などの項目より、“自由”、“楽しみ”などが重視され、“自由・個人主義”因子と命名される。

Table 14 日本と中国における手段価値観 (RSV) のQ因子得点
(ROTATED)

| | | 日 本 | | | 中 国 | | |
|-------|--|------|------|------|------|------|------|
| | | F 1 | F 2 | F 3 | F 1 | F 2 | F 3 |
| 正 直 | | -.39 | -.11 | -.13 | -.09 | .52 | .32 |
| 情 愛 | | -.30 | -.03 | -.38 | .28 | .14 | -.34 |
| 博 愛 | | -.28 | -.32 | .27 | .05 | -.10 | .42 |
| 勇 気 | | -.32 | .14 | .20 | -.25 | .02 | -.08 |
| 創 造 力 | | -.05 | .35 | .21 | -.34 | -.37 | -.06 |
| 大 志 | | -.23 | .15 | .50 | -.43 | -.20 | .14 |
| 自 立 感 | | -.03 | .34 | -.02 | -.16 | .35 | -.21 |
| 責 任 性 | | -.17 | .12 | -.14 | -.18 | .09 | .10 |
| 自 律 性 | | .10 | .20 | -.19 | .01 | .18 | -.09 |
| 知 性 | | .23 | .31 | -.19 | -.12 | .18 | -.18 |
| 寛 容 | | -.03 | -.10 | -.28 | .08 | .12 | .20 |
| 寛 大 | | -.06 | -.15 | -.30 | .12 | .19 | .24 |
| 快 活 | | .25 | -.14 | -.22 | .28 | .00 | -.31 |
| 従 順 | | .10 | -.46 | .20 | .29 | -.29 | .38 |
| 清 潔 | | .24 | -.28 | .02 | .35 | -.15 | -.06 |
| 丁 ね い | | .23 | -.29 | .16 | .33 | -.13 | -.13 |
| 論 理 性 | | .35 | .13 | .15 | .02 | -.33 | .05 |
| 有 能 | | .35 | .15 | .18 | -.22 | -.21 | -.36 |

第Ⅱ因子：日本の大学生も中国の大学生も同じように，“楽しみ”，“快適な生活”，“自己信頼”といった個人的志向のものより，“世界平和”，“国家の安全”などの社会的志向に関するものが高く評価され，“社会的平和”と命名した。

第Ⅲ因子：日本の大学生には，“国家の安全”，“社会的承認”などが否定されている。また，“快適な生活”，“楽しみ”といったような個人的な娯楽にも低い順位がつけられたのに対して，“精神の調和”，“平等”といっ

たような豊かな人間性のような精神面が高く評価された。この因子は“精神の調和”と名付けられた。中国の大学生においては，“快適な生活”，“世界の平和”などより，“社会的貢献”，“英智”，“社会的承認”などの項目が高い順位につけられ，“社会的貢献”と命名された。

(2) 手段価値観の18項目について

第Ⅰ因子：“愛他”，“正直”，“勇気”などを高く評価した日本の大学生に対して，中国の大学生においては，“大志”，“創造力”などがもっとも重要と思われる。

Table 15 日本におけるMSPV, MSIV下位尺度と目的価値観のQ因子負荷との相関

| | | 個 人 的 価 値 観 | | | | | |
|-------|--|-------------|---------|---------|-------|--------|---------|
| | | 秩 序 | 達 成 | 持 久 | 多 様 | 自己統制 | 実 際 |
| 安全・穏当 | | .12** | -.11* | .08 | -.04 | -.07 | -.06 |
| 社会的平和 | | .17*** | .03 | .13** | -.05 | .13** | -.08 |
| 精神の調和 | | -.04 | -.16*** | .08 | -.10* | .10* | -.20*** |
| | | 対 人 的 価 値 観 | | | | | |
| | | 指 導 | 支 持 | 独 立 | 親 和 | 同 調 | 社会真実 |
| 安全・穏当 | | -.04 | .14** | -.17*** | .15** | .14** | -.02 |
| 社会的平和 | | -.02 | -.03 | .04 | .08 | .06 | .20*** |
| 精神の調和 | | -.22*** | .06 | .12* | .04 | -.15** | .18*** |

*P<.05 **P<.01 ***P<.001

価値観測定尺度の構成

Table 16 中国におけるMSPV, MSIV下位尺度と目的価値観のQ因子負荷との相関

| | 個人的価値観 | | | | | |
|---------|---------|---------|--------|--------|---------|-------|
| | 秩序 | 達成 | 持久 | 多様 | 自己統制 | 実際 |
| 自由・個人主義 | -.21*** | -.22*** | -.14** | -.08 | -.18*** | .09 |
| 社会的平和 | .05 | -.02 | .13** | -.08 | .10* | -.09 |
| 社会的貢献 | -.01 | .21*** | .18*** | .22*** | .10* | -.10* |

| | 対人的価値観 | | | | | |
|---------|---------|------|--------|------|---------|---------|
| | 指導 | 支持 | 独立 | 親和 | 同調 | 社会真実 |
| 自由・個人主義 | -.08 | .04 | .07 | -.05 | -.07 | -.21*** |
| 社会的平和 | -.18*** | -.03 | .09 | .03 | -.03 | .18*** |
| 社会的貢献 | .05 | -.07 | .26*** | .02 | -.17*** | .21*** |

*P<.05 **P<.01 ***P<.001

Table 17 日本におけるMSPV, MSIV下位尺度と手段価値観のQ因子負荷との相関

| | 個人的価値観 | | | | | |
|-------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | 秩序 | 達成 | 持久 | 多様 | 自己統制 | 実際 |
| 愛他・利他 | .07 | -.03 | .23*** | -.09 | -.08 | -.17*** |
| やさしさ | .13** | -.15** | .01 | -.14** | .01 | -.04 |
| 寛大・寛容 | -.05 | -.30*** | -.17*** | -.20*** | -.13** | -.10* |

| | 対人的価値観 | | | | | |
|-------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|
| | 指導 | 支持 | 独立 | 親和 | 同調 | 社会真実 |
| 愛他・利他 | -.01 | .21*** | .02 | .17*** | .02 | .18*** |
| やさしさ | .01 | .22*** | -.32*** | .31*** | .30*** | -.11* |
| 寛大・寛容 | -.10* | .15** | -.28*** | .14** | .07 | -.27*** |

*P<.05 **P<.01 ***P<.001

Table 18 中国におけるMSPV, MSIV下位尺度と手段価値観のQ因子負荷との相関

| | 個人的価値観 | | | | | |
|-------|--------|--------|---------|--------|------|------|
| | 秩序 | 達成 | 持久 | 多様 | 自己統制 | 実際 |
| 達成・大志 | .08 | .30*** | .23*** | .19*** | .11* | -.06 |
| 協同・努力 | .05 | .29*** | -.03 | .23*** | .02 | -.01 |
| 個人主義 | -.06 | .10* | -.19*** | .13** | -.08 | .12* |

| | 対人的価値観 | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|---------|-------|--------|
| | 指導 | 支持 | 独立 | 親和 | 同調 | 社会真実 |
| 達成・大志 | .01 | -.14** | .17** | -.03 | -.12* | .27*** |
| 協同・努力 | .21*** | -.12* | -.07 | -.08 | -.01 | -.01 |
| 個人主義 | .09 | -.05 | .06 | -.19*** | -.05 | -.17** |

*P<.05 **P<.01 ***P<.001

この因子は、日本では“愛他”，中国では“達成”と、それぞれ命名された。

第Ⅱ因子：日本では，“従順”，“ていねい”，“人のために役立つ”といった“やさしさ”因子である。一方，中国の大学生にも同じような傾向の順位評定がみられて

いるが，“創造力”，“論理性”なども強調され，“協同・努力”と名付けられた。

第Ⅲ因子：日本では，“大志”を持つより，“寛大”，“寛容”の方が重要と思われ，“寛容”因子と命名された。それに対して，中国では，“愛他”，“従順”，“正直”

などより、“快活”、“有能”などに高い順位がつけられ、“個人主義”と命名される。

そこで、今度の研究で構成された価値観測定尺度とRSVとの関係を調べるため、Q因子分析による回転後のRSVの因子負荷行列とMSPV、MSIVの12下位尺度の合計得点との相関係数をもとめ、Table15～18に示した。

日本と中国の大学生において、RSVとMSPV、MSIVとの関係を調べたところ、5%、1%、0.1%の有意水準に達したいくつかの相関関係がみられた。

(1) 目的価値観の因子との関係について

日本の場合：Table15に示したように、“秩序”尺度、“親和”尺度は、“穏当・安全”因子と正の相関、“独立”尺度は、“穏当・安全”因子と負の相関を持っている。また、“社会的平和”因子は、とくに“社会的真実”尺度との正の相関が高い。一方、“指導”尺度は、“精神の調和”因子と負の相関にあることが明らかにされた。

中国の場合：Table16をみると、“達成”などの尺度が“自由・個人主義”因子と負の相関を持っていることがわかる。次に、RSVの第3因子、“社会的貢献”との関係については、“独立”尺度との正の相関がもっとも高い。

(2) 手段価値観の因子との関係について

日本の場合：Table17で、まず目につくのは、“寛容”因子が、“達成”、“多様”下位尺度との間に負の相関が高いことである。次に、RSVの2番目の“やさしさ”因子は、“独立”などの尺度と負の相関、“親和”、“同調”などの尺度と正の相関をもっている。

中国の場合：Table18の中で、“達成”尺度は、“達成”因子、“協同・努力”因子との正の相関がもっとも高いことが特徴的である。

以上の結果をまとめると、全体として、構成されたMSPV、MSIVの12下位尺度とRSVから抽出された因子との間に一貫した対応関係がみられた。今回の調査によって得られた相関関係に関する資料から、MSPV、MSIVの構成尺度は、日本と中国の大学生を対象とする場合に、ある程度の構成概念妥当性をもつと考えられる。

討 論

予備調査Ⅰから予備調査Ⅱにわたって、尺度の構成を中心にして、日本と中国の大学生の価値観について検討してきた。日本と中国の大学生の価値観の異同を比較するため、まず、価値観の因子構造の類似性を確認する必要がある。そこで、個人的価値観と対人的価値観の因子

構造を中心として、日本と中国の大学生の価値観の共通点、特徴について検討する。

前述したように、個人的価値観に関しては日本と中国ではほぼ同様な因子構造がみられた。そのうち、もっとも共通した特徴としては、両国とも“秩序・計画性”の因子が第1因子として抽出されたことである。この因子に含まれる項目間の内的整合性がもっとも高くなっており、RSVとの相関関係からみても、いずれも経験的、論理的に妥当な対応関係にあると考えられ、構成概念妥当性をもつと示唆される。また、その他の下位尺度との関係をみると、“自己統制”因子との間に深く関連しているように思われる。

“秩序・計画性”価値観が重視された今回の調査結果は、これまでの調査に一貫してみられ、菊池ら(1975)の研究などとも一致している。ゴードンら(1975)のアメリカでの研究においてあまり重要な位置につけられていない“秩序・計画性”が、中国と日本の大学生において重要な価値観ととらえられており、東洋文化の1つの特徴とも考えられる。

“努力・達成”因子については、“持久・責任感”因子との間に強い関係がある。しかも、日本と中国の大学生間に大きくいちはみられず、どちらにおいてもかなり重要な価値観として存在していると言えよう。

東洋文化の伝統的特徴として、持久と自己統制は重要な個人的価値観の次元と考えられる。予想した通り、今回の研究において、日本と中国の両方で、これらの価値観次元は独立した因子として抽出された。下位尺度と質問項目との相関関係からみると、“持久”、“自己統制”、“秩序・計画性”因子がそれぞれ関連しており、下位尺度に含まれる項目の内容からみても、ある程度のつながりをもっていることがわかる。これは、規則正しい人間が、自己の感情、行動をコントロールし、責任をもって物事を成し遂げることを重視していることを示唆している。

多様性、変化を求める時代とも言われる今、現代の大学生が“多様性”価値観を重視することが予想される。今回の調査で得られた個人的価値観の因子構造からみると、こうした時代の流れを反映するような結果が現れているといえよう。また、いくつかの質問項目が“達成・努力”因子にも高い因子負荷を示しており、チャレンジ精神が新しい物事にも関心をもつことを示唆している。

“実際・合理性”因子は、努力にみあう報酬ともの有効な管理といった2つの側面からなっている。日本と中国の大学生において、RSVの中に含まれる物事の理想的な見方のような因子とこの因子の間にマイナスの相関関係があるという結果から、“実際・合理性”下位尺度が構成概念妥当性をもつことが示唆される。しかし、

この因子の内容について、いくぶんあいまいで、日本と中国の因子構造間にズレもみられ、今後の研究においてさらに検討する必要がある。

日本と中国の大学生において、対人的価値観の因子構造にも多くの特徴がみられている。

中国と日本の大学生において、これまでの調査結果と同じように、“指導・リーダー”と“承認・自己顕示”という2つのカテゴリーが、1つにまとまってそれぞれ第1、第4因子として抽出された。したがって、他人を指導、リードすることが、他人に承認を求める手段となったり、あるいは、その逆の場合もあると考えられる。因子分析にみられるこのような結果は、菊池ら(1975)の研究にも認められている。こうした一貫した結果を考えると、東洋文化において、他人に命令を下したり、みんなの前で注目されるといった一方的な考え方より、むしろみんなのためにリーダーの役割につく、みんなと仲良くするために認めてもらう方が望ましいと考えられているのであろう。また、この“指導”尺度とRSVから抽出された因子との関係においても、こうした傾向がみられている。例えば、中国の大学生において、“指導”尺度と“自由・個人主義”因子との間にマイナス、“協同・努力”因子との間にプラスの相関がみられる。人間関係を重視する“指導”、“承認”などの日本と中国の大学生にみられる対人志向行動は、東洋文化の特徴の1つであろう。

“支持”と“親和”は、尺度の内容において互いに関連しており、かなり重要な価値観として、日本と中国の両方においてみられている。この2つの下位尺度の間にプラスの相関がみられ、他人に助けってもらったり、他人のために考えたりするといった特徴のある対人関係が強調されている。しかし、日本と中国の両方において、“親和”尺度の α 係数が比較的lowく、問題があるように思われる。

“独立”因子が、日本と中国の大学生においてそれぞれ2番目、3番目に抽出され、個人の独立性は、重要な価値観として認識されている。日野ら(1978a, 1978b)の研究で、個人主義的な価値観の成長について西洋文化の浸透の結果として解釈された。しかし、今回の調査のデータだけでは結論が得られず、さらに縦断的な視点から研究を進める必要がある。

以上のように、全体として、日本と中国の大学生の個人的価値観、対人的価値観の因子構造について、かなりの類似性がみられ、日本と中国の間の比較の条件となる構成概念、または構成尺度の対応性が得られたといえよう。

また、下位尺度の信頼性を得たと同時に、RSVを独立した外的基準として、構成尺度との関係を調べたところ、今回、構成された価値観の測定尺度は、日本と中国の文化の中で構成概念妥当性をもつと考えられる。

しかし、構成されたMSPV, MSIVについては、特に妥当性についての資料が若干不足しているように思われ、さらにその他の価値観調査、その他の測定尺度から研究、検証を重ねる必要があると思われる。

文 献

- Berry, J. W. 1980 Introduction to methodology.
In H. C. Triandis & J. W. Barry (Eds.) *Handbook of cross-cultural psychology - Methodology* - Vol. 2. Allyn and Bacon, INC.
Pp. 1-28.
- ゴードン・菊池章夫 1975 価値の比較社会心理学(増版) - 理論と測定法 - 川島書店
- Goldschmidt, W. 1966 The Malinowskian Dilemma. In W. Goldschmidt (Ed.) *Comparative functionalism*. Berkeley: University of California Press. Pp. 7-31.
- 日野林・土谷彰克・澤田 昭 1978 発達加速現象の研究その14 - 青少年の価値観の時代差について - 日本教育心理学会第20回総会発表論文集 514.
- 日野林・土谷彰克・澤田 昭 1978 発達加速現象の研究その15 - 青少年における価値観の一側面、純潔・自殺を中心に - 日本教育心理学会第20回総会発表論文集 515.
- Morris, C 1956 *Varieties of human value*. Chicago University Press.

(1987年7月31日 受稿)

ABSTRACT**THE CONSTRUCTION OF SCALES FOR MEASURING VALUES
— A Comparative Study between Chinese and Japanese University Students —**

Xiao-Qi ZHENG

This article describes a questionnaire measuring values of Chinese and Japanese university students. It represents multidimensional measurement scales of personal and interpersonal values, and utilizes 12 sub-scales selected from preparatory survey: Achievement, Self-Control, Perseverance, Practicality, Variety, Orderliness/Conformity, Independence, Affiliation, Social-Reality, Support and Leadership. This 81-item questionnaire elicits responses on a 7-point Likert-type scale (from most important to least important), and the subjects are 366 Chinese (214 males, 152 females) and 402 Japanese (169 males, 233 females) university students.

The alpha coefficients of all the subscales are relatively high, indicating high internal consistencies among the items. The validity of this instrument is examined through factor analysis and the association of these subscales with other measures of value (terminal and instrumental value survey; Rokeach, 1968). The results show a stable similarity in factor structures of the values between Chinese and Japanese university students and some valid relationships between the subscales of this questionnaire and the Rokeach's value measure. So it is suggested that this questionnaire provides a useful way to assess personal and interpersonal values among Chinese and Japanese university students.

価値観測定尺度の構成

付録 1

S P V 調査用紙

この調査は、私達が自分の生活の中で、「これは重要だ」「これは大切だ」と考えることがらを明らかにしようとするものです。この調査はテストではありませんから、答えに正答や誤答はありません。

結果はすべて集団として集計されますので、個人がどのように回答したかはまったく問題にされません。ありのままお答えいただき、調査にご協力くださいますようお願い致します。

調査実施日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

年 齢 _____ 才 性 別： 男 ・ 女

_____ 大学 _____ 学部 _____ 学科 _____ 学年

名古屋大学教育学部教育心理学教室
052-781-5111 (内2658)

回答の仕方

下記の文をよく読んで、それぞれについて、自分自身にとってどの程度重要であるかを考え、最もあてはまるところに○をつけて下さい。

| | き 重 要 で あ る | か な り 重 要 で あ る | や や 重 要 で あ る | ど ち え ら な い も | あ ま り 重 要 で な い | ほ と ん ど 重 要 で な い | ま っ た 重 要 で な い |
|----------|----------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 気持ちよく眠れる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

「気持ちよく眠れる」ことが「かなり重要である」と考える場合には、2番のところに○印をつけて下さい。

き重要
わ要
めである
て

か重要
かなり
である

や重要
やや
である

ど言
ちらえ
ともない

あ重要
まりで
ない

ほ重要
とんど
でない

ま重要
ったで
くない

- | | | | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 独力で最高水準の業績をあげる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 2. 自分の所有物をよい状態に保っておく。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 3. 見知らぬめずらしい場所に行く。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 4. 問題の解決に直接取り組む。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 5. 自分の進んでいる方向を正確に知っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 6. 物事の筋を通す。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 7. 自分が関心をもっている問題について、権威者はどう考えているかを知る。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8. いつも、ていねいな言葉を使う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 9. 一つの仕事を仕上げたら、他の仕事に移る。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 10. 失敗を他人のせいにしない。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 11. みんなから受けいれられるよう行動する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 12. 広い範囲の人びとに名前を知られる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 13. 自分のことはすべて自分で決定する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 14. 他人のためになることをする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 15. リーダーとして尊敬される。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 16. できるだけ多くの友だちをつくる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 17. 困難な仕事に従事する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 18. 实际的・能率的に物事を処理する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 19. いろいろな楽しみや娯楽を求める。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 20. 自分の意見や信念に忠実である。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 21. 明確な目的・目標をもつ。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 22. 細部にわたりきちんと計画を立てる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 23. 目上の人から期待されていることをする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 24. その場のいきおいで行動しない。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 25. 問題を解くとき、最後まで頑張る。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 26. 私を元気づけてくれる友人が身近にいる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

価値観測定尺度の構成

| | 重要である きわめて | かなり 重要である | やや 重要である | 言えない どちらとも | 重要でない あまり | 重要でない ほとんど | 重要でない まったく |
|------------------------------------|---------------|--------------|-------------|---------------|--------------|---------------|---------------|
| 27. 常に道徳的に正しいことをする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 28. 何事にも率直である。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 29. 他人に依存しないで仕事をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 30. 他人のために自分の時間を使う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 31. 集団でものを決める場合、重要な役割を果たす。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 32. 友だちと親密になる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 33. 社会で成功する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 34. 自分のものを大切にする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 35. 危険でスリルのあることをする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 36. 問題をすぐに処理する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 37. 先の見通しをよくつけて、物事を選択する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 38. 食事は規則正しくする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 39. 自分の尊敬する人から認められるようにふるまう。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 40. 自分自身を十分統制できる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 41. やりはじめたことは、たとえ時間がかかっても最後まで取り組む。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 42. 理解のある友人をもっている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 43. 常に穏当なことをする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 44. 他の人びとから自分のしたことが注目される。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 45. 命令されずに仕事をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 46. 不幸な人に親切にしてあげる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 47. 他人に大きな影響を与える力をもつ。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 48. 物事の善悪をはっきりさせる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 49. 引き受けた仕事は最後までやる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 50. 報酬に応じた努力をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 51. 新しい流行をとり入れる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 52. 問題にまっすぐ対処する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

重要でない
まったく
重要でない
ほとんど
重要でない
あまり
言えない
どちらとも
重要である
やや
重要である
かなり
重要である
きわめて

- 53. 実現可能な目標をもつ。 1 2 3 4 5 6 7
- 54. 規則正しい生活をする。 1 2 3 4 5 6 7
- 55. 自分の上に立つ人を賞賛する。 1 2 3 4 5 6 7
- 56. どんな場合でも、落ちついている。 1 2 3 4 5 6 7
- 57. 長い間、気をちらさずに仕事に熱中する。 1 2 3 4 5 6 7
- 58. 自分の味方になってくれる人がいる。 1 2 3 4 5 6 7
- 59. 社会的に正しいことをする。 1 2 3 4 5 6 7
- 60. 人びとから重要な人物として認められる。 1 2 3 4 5 6 7
- 61. 型にはまらず、自分の考えで行動する。 1 2 3 4 5 6 7
- 62. 真実を追求する。 1 2 3 4 5 6 7
- 63. 他人から頼りにされる人物になる。 1 2 3 4 5 6 7
- 64. 友だちと協力する。 1 2 3 4 5 6 7
- 65. ある分野で第一人者になる。 1 2 3 4 5 6 7
- 66. どんなものでも決まった場所に置く。 1 2 3 4 5 6 7
- 67. 社会の中で自分の役割を果たす。 1 2 3 4 5 6 7
- 68. 即座に決定を下す。 1 2 3 4 5 6 7
- 69. 自分の目標に従って、人生の計画を立てる。 1 2 3 4 5 6 7
- 70. 規則的に仕事をする。 1 2 3 4 5 6 7
- 71. 自分が尊敬する人の指図に従う。 1 2 3 4 5 6 7
- 72. 親友と呼べる友だちがいる。 1 2 3 4 5 6 7
- 73. しなければならぬ仕事は最後までやり通す。 1 2 3 4 5 6 7
- 74. 失敗したとき、励ましてくれる友だちがいる。 1 2 3 4 5 6 7
- 75. 何かをする前に、他人の気持を考える。 1 2 3 4 5 6 7
- 76. あいまいな態度を取らない。 1 2 3 4 5 6 7
- 77. 自分の意見が反対されても、自分の立場を弁護する。 1 2 3 4 5 6 7
- 78. だれにでも寛大である。 1 2 3 4 5 6 7

価値観測定尺度の構成

| | 重要でない まったく | 重要でない ほとんど | 重要でない あまり | 言えない どちらとも | 重要である やや | 重要である かなり | 重要である きわめて |
|-----------------------------|---------------|---------------|--------------|---------------|-------------|--------------|---------------|
| 79. 自分の所属している集団のリーダー格になる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 80. 親切で、仲の良いグループに加わる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 81. 他の人にとっては難しい問題を解決する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 82. 自分のはらった努力にみあう報酬を得る。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 83. 自分の役割をきちんと果たす。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 84. 自分の考えをすぐにまとめる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 85. 計画どおりに実行する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 86. 正直である。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 87. 立派な意見をもっている人の指示を受ける。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 88. 自分の能力に合った仕事をえらぶ。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 89. 途中で邪魔されても仕事をつづける。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 90. 物事を決めるとき、他人に相談する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 91. まわりの人びとにあわせて行動する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 92. 自分の経験した冒険や変わったことを人に話す。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 93. 自分がやりたいと思うことをする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 94. 友だちから悩みを打ち明けられる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 95. 自分の考えが人の行動を左右する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 96. 知らない人に話しかける。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 97. 重要な仕事に取り組む。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 98. 自分を向上させるための勉強に積極的に取り組む。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 99. 人のしていない新しい仕事をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 100. 物事を真剣に考える。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 101. 物事を始めるとき、まず目標を立てる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 102. まちがったことを正す。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 103. グループ活動ではリーダーの意見に従う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 104. はめをはずさない。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

| | 重要である きわめて | かなり 重要である | やや 重要である | どちらとも 言えない | あまり 重要でない | ほとんど 重要でない | 重要でない まったく |
|--------------------------------|---------------|--------------|-------------|---------------|--------------|---------------|---------------|
| 105. 仕事を仕上げるためには、夜遅くまで頑張る。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 106. 病気になった時、友達が気をつかってくれる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 107. 自分が人にどんな印象を与えるかを知る。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 108. 自分が成しとげたことが評判になる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 109. 他の人が知らないような面白い話をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 110. 友だちが困っているとき、助けてあげる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 111. 言い争いがあるとき、その仲裁役をつとめる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 112. いつも仲間といっしょにいる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 113. 努力が必要な仕事を成しとげる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 114. 決められた規則は守る。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 115. 新しいことや変わったことを経験する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 116. 他人の意見にまどわされずに決定を下す。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 117. 規則正しい人間である。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 118. 弱いものの味方になる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 119. どんな時でも平静をよそおう。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 120. やりかけたことは途中でやめない。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 121. 悩みを打ち明けられる人がいる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 122. 一般的に正しいと思われる生き方をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 123. 気がきいて、頭がいいと思われる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 124. 他人から何か言われても、簡単に気が変わらない。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 125. どんな人とも仲良くする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 126. 自分が思っていることを他人にやらせることができる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 127. 自分自身のことを打ち明ける。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 128. 物事を他の人よりじょうずにする。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 129. 時間を浪費しない。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 130. 風変わりな表現や目新しい言葉を使う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

価値観測定尺度の構成

| | 重要でない まったく | 重要でない ほとんど | 重要でない あまり | 言えない どちらとも | 重要である やや | 重要である かなり | 重要である きわめて |
|---------------------------|---------------|---------------|--------------|---------------|-------------|--------------|---------------|
| 131. 大ぜいの人びとの前で発言する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 132. 仕事を計画的にすすめる習慣をもつ。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 133. 行動する前に尊敬する人に意見を求める。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 134. 感情に左右されずに行動する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 135. 困っているときに、友だちに助けをもらう。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 136. いろいろなことに好奇心をもつ。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 137. グループの中で、注目の的になる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 138. 他人の言うことにまどわされない。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 139. 人の集まりに参加する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 140. 他人の役割を決める。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 141. 予定表を作り、その通りに勉強する。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |